平成28年12月号

125) 子は天から授かった大切な宝

この春から、神戸にある重症心身障害児施設「にこにこハウス」で働かせてもらうことになりました。その直後の７月末に、相模原市の障害者施設で入所者１９人が刺殺されるという痛ましい事件がおき、大きなショックを受けました。

戦後間もない私がまだ小さい子どものころ、いつも家の中に籠りきりの障害をもつ子が近所に住んでいました。あるとき、母が私に話してくれた「あの子は家中で一番立派なおへやで、あの子だけが白いごはんを食べ、だれよりも大切にされているの。あの家の宝ものなのよ。」という言葉を忘れることができません。

障害者の笑顔や全身で表現する「いのちの輝き」は、周りにいる家族や私たち施設職員に、「生きる」大きな希望と幸せを授けてくれるのを体感し、自分がその場に居合わせることに感謝する日々です。

・・・・・・・・・・・・・・・

平成28年10月号

124) いけないのは「無関心」

少子化がすすむ日本で、若者の自殺が増加しています。最近発表されたデータでは、日本の15～24歳の自殺率は、世界でトップです。わが国の１５〜１９歳世代の死因は、病気や、事故でなく、なんと「自殺」が２０１０年以後の第１位です。１０〜１４歳世代でも第３位です。これは、近年増加の一途にある「児童虐待」や「いじめ」と無関係ではありません。

「児童虐待」や「いじめ」は、他人の眼につかないところで行われているのが大半で、なかでも、眼につきにくいのが証拠を残さない「ネグレクト」、「無視・無関心」です。

「児童虐待」や「いじめ」をなくすには、大人ひとりひとりがもっと自分の周りの子どもたちに関心を寄せ、言葉かけをすることです。

・・・・・・・・・・・・・・・

平成28年8月号

123) 「夏かぜトリオ」対策を

「ヘルパンギーナ」、「手足口病」、「咽頭結膜熱（プール熱）」の3つは「夏かぜトリオ」といわれる子どもの代表的な夏かぜです。

発熱とともに口腔粘膜に水疱(すいほう)や潰瘍ができる「ヘルパンギーナ」、口の中、手のひら、足の裏などに発疹や水疱ができる「手足口病」は、エンテロウイルス（腸管ウイルス）のコクサッキーウイルスＡ群が。高熱とともにのどが腫れ、目が充血する「咽頭結膜熱」は、アデノウイルスが原因です。

暑さで疲労がたまり、免疫力が落ちると発症します。多くは、数日間で発熱、発疹は収まりますが、いつまでも熱が続き、吐いたりぐったりする場合は、医療機関に相談してください。

これらに対する効果的な薬はなく、予防策は、「手洗い」、「うがい」といった一般的なウイルス対策です。楽しみにしていた夏休みプランが台無しにならないように、暑さ対策に気をつけましょう。

・・・・・・・・・・・・・・・

平成28年6月号

122) 私が思うイクメンの役割とは

お母さんは、赤ちゃんを見るとすぐにほほえみかけ、自然と赤ちゃんとの間に強い絆が生まれてきます。一方、お父さんは、分娩に立会い、お母さんよりも赤ちゃんを長く抱き上げることはできても、ほほえみかける回数や時間はお母さんには遠く及ばないという研究データがあります。

赤ちゃんがしっかりと相手を見つめ、笑い始めるまでのお父さんの役割は、赤ちゃんに直に触れることも大切ですが、お母さんが安心して育児に専念できるためのサポート役です。お父さんがお母さんよりも上手にできるのは沐浴です。男の大きな掌に赤ちゃんをのせてお湯に浸からせると、赤ちゃんは手足をだらりと伸ばし、気持ち良さそうにしてくれます。

お父さんが子育ての前面に出るのは、子どもが自立し始める１歳を過ぎてからです。家庭から社会に出ていくための「しつけ」こそが、お父さんの役回りです。

・・・・・・・・・・・・・・・

平成28年2月号

121) 現代の「イクメン」の悩み

「イクメン」という言葉が社会に広がり、父親の子育てが注目されています。「ベネッセ教育総合研究所」がほぼ５年毎に実施している「乳幼児の父親についての調査」2014年版では、「ごみを出す」、「食事の後片付けをする」などの家事参加する父親の割合はこの10年間で５〜10％増加しているのに対して、「子どもをお風呂に入れる」（39%）、「子どもと一緒に室内で遊ぶ」（37%）といった子どもと直接関わる父親の割合はこの１０年間で5〜10％減少しています。

子育てに関わりたいと思っていても、早く帰宅することができず、子どもに接する機会を持てない父親の姿がうかがえます。その結果、「子どもとの接し方に自信がもてない」（44%）という父親がこの10年間で7.8%も増加しました。

共働き世帯が増えていく社会においては、夫から妻へ、妻から夫へのお互いの助け合い、ねぎらいのことばとともに、母親とともに父親自身のワークライフバランスに配慮し、育児に参加しやすい職場環境づくりが求められます。

・・・・・・・・・・・・・・・